

令和8年度全国学力・学習状況調査の目的及び調査内容

本調査は、文部科学省が学校の設置者（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施するものです。

1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- ・原則、国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒

3 調査事項

（1）教科に関する調査

小学校：国語、算数

中学校：国語、数学及び英語（「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」）

（2）質問調査

児童生徒：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

学 校：学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査

（3）調査時間

〔小学校〕

国 語	算 数	児童質問紙
4 5 分	4 5 分	2 0 分程度

〔中学校〕

国 語	数 学	英語	生徒質問紙
5 0 分	5 0 分	9 5 分程度	2 5 分程度

令和8年度全国学力・学習状況調査結果

1 全国学力・学習状況調査結果

(1) 学力状況

〔小学校〕 ※正答率：総問題数に対する正答した問題数の割合

教科	正答率	よかったところ	課題となったところ
国語	全国よりやや低い	【話すこと・聞くこと】 ・理由や事例を挙げながら、話の中心が明確になるよう、話の構成を考えること。 【読むこと】 ・文章を読んで理解したことに基づき、考えをまとめること。	【書くこと】 ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 【読むこと】 ・目的に応じて、必要な情報を見付けること。
算数	全国より低い	【数と計算】 ・整数と小数のひき算の計算をすること。 【図形】 ・立方体の体積の求め方を理解すること。	【図形】 ・直方体の箱を構成する面について理解すること。 【変化と関係】 ・百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。

〔中学校〕

教科	正答率	よかったところ	課題となったところ
国語	全国より低い	【書くこと】 ・気持ちがより伝わるように、表現の効果を考えて描写すること。 【言葉】 ・単語（ら抜き言葉）の活用について理解すること。	【読むこと】 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈すること。 【情報の扱い方】 ・情報と情報との関係（課題解決の仕方に応じて分類した）の表し方を理解し、使うこと。
数学	全国より低い	【数と式】 ・具体的な場面（気温の差を求める）において、正の数と負の数を用いて正しく計算すること。	【数と式】 ・文字を使った式の場面で、同類項の意味を理解し、見いだすこと。 【図形】 ・与えられた条件を整理し、証明する事柄（2つの角の大きさが等しい）の仮定を見いだすこと。
英語	全国より低い	【読むこと】 ・日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えること。	【聞くこと】 ・日常的な話題について話を聞き、概要を捉えること。 【書くこと】 ・音声や語彙、表現、文法、言葉の働きの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用すること。

(2) 学習状況等

[小学校]

項目	児童生徒の状況	
	小学校	中学校
☐ 主体的に学ぶ態度 ・児童生徒が授業中に進んで学習に取り組もうとしているかの状況	全国より高い	全国と同等
☐ 個別最適な学び ・児童生徒が授業中これまで身に付けた知識や技能、考え方などを駆使し、自分に合った方法で学ぼうとしているかの状況	全国より高い	全国より高い
☐ 協働的な学び ・児童生徒が尊重し合い、協働して考えを深めたり広げたりしながらよりよく課題を解決しようとしているかの状況	全国と同等	全国と同等
☐ ICTの活用技能 ・児童生徒がタブレット端末等を使って、文章を作成できる、情報を収集・整理できる、プレゼンテーションを作成できる状況	全国より高い	全国より高い
☐ 家庭学習時間 ・児童生徒が平日に家庭で1時間以上学習している状況（学習塾等で学習する時間を含む）	全国より高い	全国より低い
☐ スマホ等によるSNS、動画視聴 ・児童生徒が平日に家庭で1時間以上スマホ等を使ってSNSや動画視聴している状況	全国と同等	全国より低い
☐ 基本的生活習慣 ・毎日朝食をとっているかの状況 ・定時に就寝しているかの状況 ・定時に起床しているかの状況	全国と同等 全国より高い 全国よりやや高い	全国より低い 全国と同等 全国と同等
☐ 自尊感情 ・児童生徒が自分にはよいところがあると思っているかの状況	全国と同等	全国より低い

2 全国学力・学習状況調査結果に基づく児童生徒の状況

(1) 学力実態

令和8年度の全国学力・学習状況調査結果から、小学校については、国語、算数の両教科で、全国の平均正答率よりも「やや低い」、「低い」状況にあります。また、中学校については、国語、数学、英語のいずれの教科も全国の平均正答率よりも「低い」状況にあります。

(2) 学習状況等

- 「主体的な学び」、「個別最適な学び」、「協働的な学び」について、肯定的な回答をした小・中学生の割合は、全国と同等若しくは高い状況にあります。
- 平日1時間以上家庭学習を行っているとは回答した小学生の割合は、全国よりも高い状況にあります。中学生については、その割合が全国より低い状況にあります。
- 平日1時間以上スマホ等を使ってSNSや動画視聴していると回答した小学生の割合は、全国と同等です。中学生については、その割合が全国より低い状況にあります。
- 基本的な生活習慣の要因となる「早寝・早起き・朝ごはん」について、小学生で全国と同等若しくは高い状況にあるものの、中学生では同等若しくは低い状況にあります。
- 「自分によいところがある」と回答した小学生の割合は全国と同等ですが、中学生は低い状況にあります。

今後の取組の方向性

1 授業の行い方

児童生徒が、学ぶことへの関心を持ち、自分に合った方法で課題の解決案を考え、それを友達と協働してよりよいものに高めていく学習となるよう、小・中学校が連携して指導方法の改善を図ります。

児童生徒の主体的な学びを助長するとともに、学習への意欲の高まり、基礎的な知識や技能の習得、学びの広がりや深まりにつながるよう、ICT機器の効果的な活用に努めます。

児童生徒の実態に応じて学習内容の定着を図ることができるよう、習熟度別学習等の学習形態の工夫や個に応じた学習課題の提示を図ります。また、帯時間等を活用した反復学習の充実にも努めます。

2 家庭学習等の充実

児童生徒の家庭学習が充実するよう、ICT機器を活用した家庭学習を推進します。

家庭との連携を図り、児童生徒が計画的に家庭学習を行うことができるよう、定期的に家庭学習強化週間等を設けます。

「放課後塾」を開催し、児童生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着を促進します。

3 安心して学ぶことのできる学習環境づくり

基本的な学習規律の徹底を図り、児童生徒相互が尊重され、安心して学ぶことのできる学習環境づくりに努めます。

4 家庭と連携した規範意識の高揚

スマートフォンやSNSの使用等、情報モラル高揚のため、家庭と連携した情報モラル研修会等の開催に努めます。